



優秀若手研究者賞 受賞者発表会

Day 2
11/5 (木)

神戸大学では、卓越した業績を挙げた若手研究者が、将来本学の研究リーダーとして活躍することを期待し、また若手研究者らの活性化を図るため、その研究成果・積み重ねに対して表彰を行う「優秀若手研究者賞」を毎年度実施しています。推薦および公募により応募のあった若手研究者の中から、論文・著書の成果、受賞歴、外部資金獲得状況や社会貢献といった業績を評価した結果、12名の受賞者が選ばれました。受賞者の内11名が、自身の研究成果を発表します。

○日 時 2026年11月5日(木) 9:00 ~ 12:00

○場 所 神戸大学百年記念館 六甲ホール

神大ウィーク
プログラム



時 刻	発表者氏名	研究発表タイトル
8:30~9:00	開 場	
【第1部】優秀若手研究者賞受賞者発表会		
9:00~9:10	開会挨拶	
9:10~9:20	平田 悠 特定助教（医学部附属病院）	高血糖および不動化における筋量制御のメカニズム
9:20~9:30	植木 秀登 助教（医学部附属病院）	手術支援ロボットの術中情報を用いたAI研究:技能評価・フェーズ認識・フレームワークの国際標準化と将来展望
9:30~9:40	上田 雄也 助教（医学系研究科）	下肢スポーツ外傷に対するリハビリテーション ー 競技復帰から生涯にわたる下肢の健康までを見据えてー
9:40~9:50	新谷 勇介 特命助教（医学系研究科）	非幻覚性の抗うつ薬の開発に向けた薬理学研究
9:50~10:00	黒木 淳 教授（経営学研究科）	「数字」は人をどう動かす? -人と社会の意思決定を考える会計学
10:00~10:15	休憩	
10:15~10:25	加藤 俊介 准教授 (先端バイオ工学研究センター)	有機化学反応から学ぶ微生物酵素の探索
10:25~10:35	管 科成 准教授 (先端膜工学研究センター)	Separation membranes enabled by interfacial chemistry in nanopores / ナノ細孔内面の界面化学で物質を選り分ける分離膜
10:35~10:45	新川 匠郎 准教授 (国際文化学研究科)	集合論的な相互作用分析の基盤構築:質的・量的アプローチを橋渡しする方法論の開発に向けて
10:45~10:55	田中 智子 准教授（人文学研究科）	新たな古代和歌史を目指して
10:55~11:05	ターン 有加里ジェシカ 講師 (人文学研究科)	公平感の心理学
11:05~11:20	休憩	
【第2部】最優秀若手研究者賞受賞者特別発表		
11:20~11:50	鈴木 望 講師（工学研究科）	生命はなぜ左右非対称なのか? ～分子の左右差を増幅する新しい仕組みの発見～
11:50~12:00	閉会挨拶	

※途中参加・途中退出可能です。

※参加申込(事前申込推奨)

当日参加も可能ですが、事前申込にご協力をお願いいたします。

申し込みは
こちら



問い合わせ先:研究推進課研究助成グループ Mail:gksh-jimu@research.kobe-u.ac.jp